

平成 28 年度 京都教育大学 教科教育等卒業論文・修士論文発表会 プログラム

日時：2017（平成 29）年 2 月 17 日（金）9:20 ～ 16:30 会場：B2 講義室

主催：京都教育大学教科教育担当者会議

	9:20	開会の辞	
1	9:30-9:45	幼児期における防災絵本の教育効果 ー脅威アピール研究の成果を用いた防災絵本の分析ー	高詰茉奈（社会科教育）
2	9:45-10:00	小学校社会科歴史分野における神話・伝承の授業設計	福井貴子（社会科教育）
3	10:00-10:15	小学校の音楽科授業における ICT の活用方法	小原麗子（音楽科教育）
4	10:15-10:30	音楽教科書におけるリコーダー楽曲に関する一考察 ー柳生力の「楽器と楽曲の様式の一致」の視点からー	田又さやか（音楽教育専修）
5	10:30-10:45	走り幅跳びの授業において学習者の踏み切り局面を視覚化する方法の検討	福西穂乃佳（体育科教育）
6	10:45-11:00	学習者の経験に中心をおいた組体操の成果についての検討	高桑詩乃（体育科教育）
7	11:00-11:15	図画工作科における創造的スキルに関する学びの実態	大垣奈緒子（美術科教育）
8	11:15-11:30	沖縄の小学校における琉球美術の導入に関する一考察 ー現状調査と「紅型」実践への試案ー	川満和磨（美術科教育）
講評・昼食・休憩			
9	12:30-12:45	発酵食品づくりからの学びに関する研究	瀧本真太郎（理科教育）
10	12:45-13:00	マッチ棒ロケット作りをテーマとした探究プロセスの開発と実践 ー飛翔メカニズムの検討を通じてー	直川和樹（理科教育専修）
11	13:00-13:15	家庭科がめざす生活についての研究 ー羽仁もと子の思想と友の会の活動からー	藪田まり（家庭科教育）
12	13:15-13:30	将来の家庭生活に関わる姿勢の形成に関する一考察 ーお手伝い経験と家庭科学習の分析からー	橋本梨菜（家庭科教育）
13	13:30-13:45	小学校算数科における立体図形と展開図に関する児童の認識特性 ー第 5 学年を対象とした視線移動計測実験からー	倉橋七緒（数学科教育）
14	13:45-14:00	算数的活動の効果的な指導法について ーよりよい授業づくりをするためにー	佐野永実（数学科教育）

休憩（15分）

- | | | | |
|----|-------------|---|--------------------|
| 15 | 14:15-14:30 | 演劇的手法による文学教材の理解の深まりについて | 平川恵介（国語科教育） |
| 16 | 14:30-14:45 | 自分の考えを形成する高等学校評論文・論説文指導の研究 | 松本圭祐（国語教育専修） |
| 17 | 14:45-15:00 | 技術科生物育成における生徒の理解を深める ICT 教材の開発ーアクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践を通してー | 中村悠那（技術科教育） |
| 18 | 15:00-15:15 | 技術科「C 生物育成の技術」の必修化に伴う授業実践の現状と課題 | 大西倫央（技術科教育） |
| 19 | 15:15-15:30 | 日本のバイリンガル教育における第二言語習得について | 北岡知佳（英語科教育） |
| 20 | 15:30-15:45 | 日本の小学校における CLIL 志向による英語指導の効果 | 松延亜紀（英語教育専修） |
| 21 | 15:45-16:00 | 素朴概念から科学的概念へ変化させるための学習過程
ー仮説実験授業の知見を援用してー | 井上晃一（大学院連合教職実践研究科） |
| 22 | 16:00-16:15 | 学習指導要領(2020)の理念を踏まえた実践授業の考察と再構築
ーカリキュラム・マネジメントとアクティブ・ラーニングの視点からー | 山川 拓（大学院連合教職実践研究科） |
-

講評・閉会の辞

発表者の学生諸君へ

- 1) 教科や専門分野の異なる方々が参加しますので、簡潔でわかりやすい発表を心がけて下さい。
- 2) 持ち時間は 15 分で、質疑応答や発表者の交代時間が含まれます。目安として口頭発表 12 分まで、質疑応答 3 分までとします。
- 3) 司会進行は同一専攻・同一専修のなかで交代して行います。計時の鈴は 10 分で 1 回、12 分で 2 回、15 分で 3 回（終鈴）鳴らして下さい。
- 4) ハンドアウトは所属・氏名を明記したものを 40 部用意して、午前中の発表者については当日の朝、9:30 までに、午後の発表者については昼休みの 12:30 までに所定の机上において下さい。
- 5) パワーポイントによる発表者はファイルを持参のうえ、備え付けのパソコンに保存して動作確認を済ませておいて下さい。午前の発表者は 9:00 以降に、午後の発表者は昼休みにお願いします。